

国際会議から 第9回レール/車輪システムの接触力学と摩耗に関する国際会議 (CM2012)

レール/車輪の接触力学と摩耗に関する国際会議は、レールと車輪の接触に焦点を絞った国際会議です。3年あるいは4年に1度開催されており、1982年の第1回以来、今回で第9回を数えます。今回は、車輪/レール摩擦制御、車輪/レール接触挙動の計測・シミュレーション、転がり接触疲労、レール波状摩耗、車輪/レール摩耗のシミュレーションなど、30のセッションに分かれて計97件の発表がありました。また、ポスター発表も19件ありました。日本からは、JR東日本、交通安全環境研究所、東京大学、



深貝晋也
材料技術研究部
摩擦材料研究室
研究員

鉄道総研より、招待講演を含む計7件の発表がありました。会議全体として、大学や研究機関の発表者が多く、学術的な発表が多い印象を受けました。

筆者は初めての参加でしたが、第3回(1990年)の報告を見ると、5セッションで27件の発表であったとのことなので、本会議がいかに規模を拡げてきたかが伺えます。境界問題を扱う本会議は、多分野の専門家が意見を交わすことができる数少ない貴重な場であると感じました。

正式名称：9th International Conference on Contact Mechanics and Wear of Rail/Wheel Systems (Contact Mechanics 2012)

開催国：中国(成都)

期間：2012/8/27～30

主催：西南交通大学

次回開催予定：2015/8/30～9/3 アメリカ合衆国(コロラド)